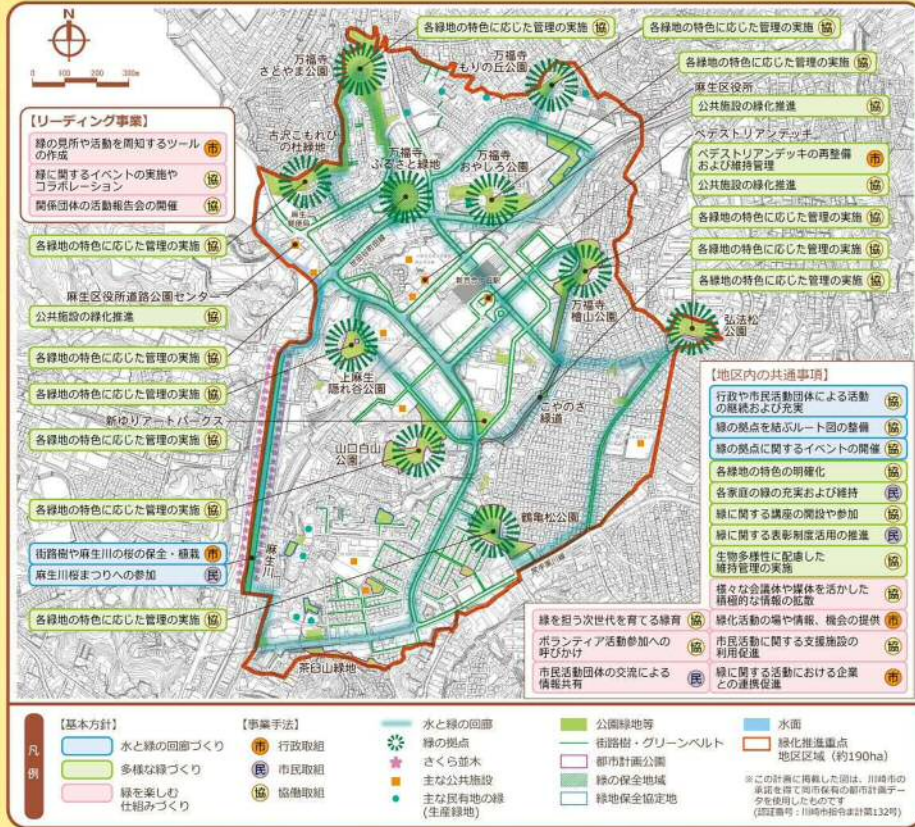


新百合丘地区 緑化推進重点地区 施策方針図



計画改定の経緯

計画の改定にあたりましては、市民などで構成する新百合丘地区緑化推進重点地区計画改定計画検討会議を平成30年9月から3回開催し、施策方針等の検討を行いました。

- 第1回 目指すべき姿の検討と現状把握
- 第2回 実施すべき活動の検討
- 第3回 改定案のまとめ

ボランティア募集!!



新百合丘地区の緑地では、様々な市民活動団体が緑を楽しみ、育む活動を行い、景観の維持に貢献しています。
 この活動に参加して一緒に緑を楽しみませんか?
 ご興味のある方は、まずは緑地に足を運んでみて下さい。あなたの一歩から「つながりの輪」が広がります!

- 1: 万福寺おやしろ公園 (麻生ヤマコリ緑化普及会の緑化活動)
- 2: 麻生2号緑 (新百合山手中央通り)
- 3: 上麻生緑地公園
- 4: 麻生川緑並木 (平成28年度麻生区観光写真コンクール) 優秀賞「サクラにとどけ!」 芝村良
- 5: 万福寺おやしろ公園
- 6: 万福寺さやま公園

新百合丘地区 緑化推進重点地区計画

発行：川崎市
 編集：川崎市建設緑政局
 みどりの協働推進課 緑化推進担当
 平成31年(2019年)3月発行

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1
 タワー・リパークビル14階
 Tel: 044-200-2380 Fax: 044-200-7703
 E-mail: 53mikyo@city.kawasaki.jp



新百合丘地区 緑化推進重点地区計画

いろんな 緑に出会えるまち

しんゆり



「緑化推進重点地区」とは、市域において重点的に緑化の推進に配慮を加えるべき地区のことです。

新百合丘地区[®]では、平成15年に緑化推進重点地区計画が策定され、様々な緑化の取り組みが行われてきました。計画策定から15年近くが経過したため、現在の状況を踏まえ、計画の改定を行いました。

※都市計画における新百合丘駅周辺地区とは異なります。

1 地区の概況

小田急電鉄の新百合ヶ丘駅を中心とする地区で、面積は約190ha、人口は以前の計画が策定された平成15年当時の約2倍にあたる約19,700人（平成30年12月末現在）に増加するなど、主に住宅街として発展している地区です。地区全体を住宅地が広く占める中、麻生川沿いの桜並木や歴史的な背景を持つ緑道、里山の景観を残す公園などの豊かな緑が各所に見られます。

本地区では、新百合ヶ丘駅を中心に、川崎市北部の広域拠点として、商業、情報、文化などの都市機能が集積され、「しんゆり・芸術のまち」づくりが進められています。今後、横浜市営地下鉄の乗り入れが予定されており、更なる発展が期待されています。



2 緑の現況

地区内は広く住宅地が占め、春には家々のツツジなどの花々が咲き、美しい風景をつくり上げています。このほか、人々を迎える新百合ヶ丘駅ペDESTリアンデッキの植栽、行き交う人が憩う麻生川沿いの桜並木、歴史的な背景を持つこやのさ緑道、上麻生隠れ谷公園や弘法松公園、里山の風景を今に伝える万福寺地区の公園など、多様な緑がみられます。また、これらの緑を往路樹が繋いでいます。

本地区では、これまでの計画に従って緑化が推進され、緑の充実が図られるとともに、町内会や管理運営協議会など、市民による緑の自主管理が活性化されました。一方で、緑地の更なる活用や、緑の活動への新たな参加、活動を継続するための方策が求められています。

※当該計画の「緑地」は、主に公園や緑道を示す。



3 テーマ

いろいろな緑に出会えるまち しんゆり

4 基本理念



新百合ヶ丘地区には、植栽や街を彩る緑、人や暮らしなどにより創られた緑、歴史的な背景を持つ緑、多摩丘陵の面影を残す自然の緑など、多様な緑が存在しています。このような緑を楽しみ、育むことによって生まれる「新しい出会い」や「つながりの輪」を広げ、心豊かで魅力ある街づくりを目指します。

5 基本方針

1 水と緑の回廊づくり

緑の拠点となる公園や緑道、街路樹などをつなぎ、歩いて楽しい水と緑の回廊づくりを進めます。

【凡例】

- 水と緑の回廊
- 緑の拠点
- 水面
- 公園緑地など
- 主な民有地の緑（生産緑地）
- 街路樹・グリーンベルト
- さくら並木
- 緑化推進重点地区区域（約190ha）



2 多様な緑づくり

各緑地の特色を明確化することによって、新百合ヶ丘らしい多様な緑づくりを進めます。

【凡例】

- 公共施設の緑化
- 緑の拠点
- 水面
- 公園緑地など
- 主な民有地の緑（生産緑地）
- 街路樹・グリーンベルト
- さくら並木
- 緑化推進重点地区区域（約190ha）



3 緑を楽しむ仕組みづくり

一人一人が新百合ヶ丘の緑に興味を持ち、緑の活動に参加し、新百合ヶ丘らしいより良い緑を求めて、行動し、協力し合う仕組みをつくります。

6 基本目標・主な取組

基本方針

1 水と緑の回廊づくり

基本目標

1 水辺や緑地の緑の充実

麻生川の水辺や新百合ヶ丘の多様な緑など、主体的な管理の継続により、緑の連続や景観の充実を図ります。

2 水辺や緑地（緑の拠点）の活用の推進

水と緑の回廊を通じて市民が緑地を活用することにより、新百合ヶ丘の緑地に関する理解を深め、楽しむきっかけを作ります。

| | 事業手法 | 達成時期 |
|------------------------|------|------|
| 行政や市民活動団体による活動の継続および充実 | 協 | 継 |
| 街路樹や麻生川の桜の保全・植栽 | 市 | 継 |
| 緑の拠点を結ぶルート図の整備 | 協 | 短 |
| 緑の拠点に関するイベントの開催 | 協 | 短 |
| 麻生川桜まつりへの参加 | 民 | 継 |

2 多様な緑づくり

1 しんゆりの入り口となる緑づくり

新百合ヶ丘の入り口となる場所の緑を整えることによって、訪れる人をもてなし、憩える緑づくりを進めます。

2 特色ある緑地や身近な緑の維持と創出

緑地などのまとまった緑だけでなく、住宅地などの身近な緑も新百合ヶ丘の緑を支える大切な要素です。住宅地の小さな緑から公園などの大きな緑まで、新百合ヶ丘らしい緑づくりを進めます。

| | | |
|------------------------|---|----|
| ペDESTリアンデッキの再整備および維持管理 | 市 | 短 |
| 公共施設の緑化推進 | 協 | 継 |
| 各緑地の特色の明確化 | 協 | 短 |
| 各緑地の特色に応じた管理の実施 | 協 | 継 |
| 各家庭の緑の充実および維持 | 民 | 継 |
| 緑に関する講座の開設や参加 | 協 | 短継 |
| 緑に関する表彰制度活用の推進 | 民 | 継 |
| 生物多様性に配慮した維持管理の実施 | 協 | 継 |

3 緑を楽しむ仕組みづくり

1 重点地区計画や緑の活動に関する情報の拡散

市民に新百合ヶ丘の緑の活動を伝えるために、これに関係する情報を積極的に広めます。

2 地域を巻き込む市民活動団体の充実・拡大

市民が緑の活動に触れる機会を設け、活動の楽しさや大切さ、活動に参加する方法などを伝えます。

3 しんゆりの緑を担うグリーンコミュニティづくり

市民活動団体をつなげ、協力しあう体制づくりを進めることで、新百合ヶ丘の緑を担う大きなグリーンコミュニティの構築を目指します。

| | | |
|-------------------------|---|----|
| 緑の見所や活動を周知するツールの作成 | 市 | 短 |
| 様々な会議体や媒体を活かした積極的な情報の拡散 | 協 | 継 |
| 緑に関するイベントの実施やコラボレーション | 協 | 短継 |
| 緑化活動の場や情報、機会の提供 | 市 | 継 |
| 市民活動に関する支援施設の利用促進 | 協 | 継 |
| 緑に関する活動における企業との連携促進 | 市 | 継 |
| 緑を担う次世代を育てる緑育 | 協 | 継 |
| ボランティア活動参加への呼びかけ | 協 | 継 |
| 関係団体の活動報告会の開催 | 協 | 継 |
| 市民活動団体の交流による情報共有 | 民 | 継 |

※1 市 行政取組：主に行政主体で取り組む事業 民 市民取組：主に市民主体で取り組む活動 協 協働取組：市民・事業者・行政との連携で取り組む事業

※2 短 短期：1年から3年程度で達成を目指す 継 継続：活動し続けることを目指す